

動画解説まとめ 34 / 実践者の事例

教える経験をオンライン講座に変える方法

ネイル講師の事例から、対面で教える知識を動画講座に変える流れを整理。録音から台本・スライドを作る方法と、Threadsで学びたい人に届ける発信の考え方をまとめました。

この動画の要点

ネイル講師が自分の指導経験をオンライン講座にし、InstagramとThreadsから販売した事例を解説する動画です。実際に話した内容をNottaで文字にし、ChatGPTで台本を整え、GammaとCanvaで教材を作る流れが紹介されています。土台にあるのは専門経験と受講者の困りごと。資料では、遠方の人にも教えたいという出発点、講座の組み立て方、地味でも役立つ知識を発信する集客までをつなげて整理します。

01 講座のテーマは、実際に教えた経験や感謝されたことから探す。

02 受講者の出発点と到達点を決め、知識・実演・実践を組み合わせる。

03 自分の説明を録音してAIで整えることで、教えたい内容の軸を残す。

04 Threadsでは、完成写真だけでなく道具や作り方の具体的な知識も届ける。

資料の使い方

動画の要点を読み返し、紹介した手順を実践するときにお使いください。本文の時刻を押すと、元動画の該当箇所を開けます。

元動画：【0から5ヶ月で90万円超!!】超初心者のネイリストがチャットGPT活用してスレズでお金を稼いだ方法全部暴露【AI副業】【Threads】【ChatGPT】

<https://www.youtube.com/watch?v=Y2Cuu8uesjA>

1. 遠くて通えない人の困りごとを講座の出発点にする

動画の該当箇所 7:01 / タップして開く

登壇者は、営業職を経験した後にネイリストになり、施術と情報発信を続けながら人に教えていました。Instagramで質問をもらったことや、教えた相手に喜ばれた経験が講座の土台です。副業やオンライン販売が初めてでも、教える内容まで未経験だったわけではありません。自分の中にある経験を、他の人が学べる形へ変えた事例として捉えます。

具体的なきっかけは、遠方から受講したい人が交通費や宿泊費を負担できず、対面レッスンを諦めたことでした。愛媛の人が渋谷でのレッスンを検討し、宿泊費のため断念した話が紹介されています。オンライン化の目的は、同じ場所に集まらない人へ指導を届けること。このような相手の事情があると、何を動画で説明し、どこで実践を確認する必要があるかを考えやすくなります。

- ・ 自分が人に教えたこと、質問されたこと、感謝されたことを書き出す。
- ・ 『遠くて通えない』『独学で手順が分からない』など、相手が学べない理由を確かめる。
- ・ 経験のあるテーマと実際の学習ニーズが重なるところを講座候補にする。

2. 初心者ができるようになる順番で構成する

動画の該当箇所 10:45 / タップして開く

紹介された講座は、最初に受講の進め方を説明し、必要な知識を学んだ後、手元の実演を見て受講者が実践する構成です。ジェルを機械で落とす方法など、手の動きを見せる動画も用意し、受講者から送られた成果物にフィードバックする流れが語られています。講師の顔を長く映すことより、学ぶ人が理解すべき動きや判断を見せる設計です。

カリキュラムをChatGPTと考える際は、『初心者が対象』『ネイルを教える』『最後は自宅サロンを開けるようになる』といった出発点・内容・到達点を伝えています。既に対面で教えていた内容も材料にし、章立ての案を出させ、不要な項目を削ったり順番を変えたりして完成させました。AIの目次をそのまま採用せず、自分の指導経験と照らして直すことが重要です。

本人は約60本の動画を1か月ほどで制作したと話しています。ただし、これは本人の制作事例です。動画本数を先に目標にするより、学ぶために必要な知識と実演が揃っているかという構成の考え方を参考にします。

- ・ 講座の使い方を案内する。
- ・ 実演を見る前に必要な知識を説明する。
- ・ 手元や作業の流れを見せ、受講者自身の実践につなげる。

3. 実際の説明を録音し、ChatGPTで台本に整える

動画の該当箇所 13:00 / タップして開く

台本の材料は、普段のレッスンで話している内容です。誰かに教えている場面を録音するほか、目の前に受講者がいるつもりで一人で説明する方法も紹介されています。スマートフォンのボイスメモで録音した音声をパソコンへ移し、Nottaにアップロードして文字起こしを作ります。複数人の会話では話者を識別する設定を使う例が示されました。

文字起こしには話し言葉や言い直しが混ざっていても、それをChatGPTへ渡し、講座用の台本に整理してもらいます。動画内の説明例は、ネイルケアの台本を作りたいと伝え、以下の内容を参考に組み立ててもらおうというものです。特別な一文だけで完成させるのではなく、出てきた台本は本人が細かく修正しています。

この手順の利点は、自分が教えたい内容を最初から材料として渡せることです。テーマ名だけをAIへ伝えると、一般的な説明に寄りやすくなります。自分の話を起点にすれば、実際に質問された点、現場で伝えている注意点、説明の優先順位を残したまま文章を整理できます。

- ・ 録音する内容は、自分が説明できる範囲の知識や手順にする。
- ・ 文字起こしを台本化した後も、言いたいことや順序を自分で確認する。
- ・ 章立てを先に決め、台本を章ごとに整理して制作を進める。

4. 台本からスライドと講座動画を作る

動画の該当箇所 20:16 / タップして開く

説明資料が必要な部分では、修正済みの台本をGammaへ貼り付け、資料化します。登壇者は、ネイル講座では写真を使った見せ方が欲しかったため、比較したツールの中でGammaが自分の目的に合ったと述べています。これは本人の用途における選択であり、すべての教材に同じツールが最適という意味ではありません。

作ったスライドはPowerPoint形式で出力し、Canvaへ取り込みます。Canvaで文字の位置、見出し、フォントなどを調整し、プレゼンテーションの発表者モードでスライドを送りながら話して録画する流れです。元の説明が自分の話なので、資料を見ながら解説し直しやすいことも語られています。

手元の動きが必要な項目では実演を撮影し、説明中心の項目ではスライドを使います。何でもスライド動画に統一するのではなく、伝える内容に応じて形式を選んでいきます。完成した動画はUTAGE上の講座にまとめ、受講者が順番に学べる形で提供した事例です。

- ・ 材料：自分で確認・修正した講座台本。
- ・ 操作：Gammaで資料化し、PowerPoint形式で出力してCanvaで整える。
- ・ 完成物：解説動画と手元の実演動画を組み合わせたオンライン講座。

5. Threadsでは『どうやって作るか』に答える

動画の該当箇所 25:01 / タップして開く

登壇者は、InstagramとThreadsの両方から集客しており、本人の感覚では販売への貢献は半々程度だと話しています。動画時点のフォロワーはInstagramが500人余り、Threadsが約360人でした。これらは本人のアカウントの事例で、同じ人数で同じ販売額になることを示すものではありません。

Threadsで扱っていたのは、見栄えのよい完成ネイルだけではなく、道具の写真を添え、そのジェルでどのような仕上がりになるか、どう作るかなど、具体的な知識を説明していました。登壇者は、本当に大切なことには地味でも言葉にした方が伝わるものが多いと述べています。テキストを中心にすることで、きれいな映像を撮り編集する負担も減ったという話です。

対談では、Instagramで見た目への興味を作り、Threadsで『自分もやってみたい』『どうやるのか知りたい』に答える役割分担が整理されています。講座の内容と投稿で届ける知識がつながっているため、学びたい人へ届きやすいのではないかと、というあべさんの分析です。単にフォロワーを増やす施策としてではなく、教える内容の一部を日頃から伝える発信として参考にできます。

- ・ 完成写真だけでなく、道具・工程・仕上りの違いを言葉で説明する。
- ・ 投稿を見た人が次に知りたくなることを、講座の内容とつなげる。
- ・ 閲覧数には大きな差があるという本人の話も踏まえ、単発の伸びを標準にしない。

6. 販売実績は、専門経験と制作・発信を合わせた結果

動画の該当箇所 33:47 / タップして開く

動画では、8月に販売を始め、12月初旬までに902,700円の販売額になったと本人が示しています。タイトルや対談には4か月・5か月という表現が混在しますが、4か月を終えて5か月目に入った時点の話です。この金額から運営費や制作費を差し引いた利益は示されていません。

再利用しやすい部分は、販売額そのものよりも仕事のつなぎ方です。自分の指導経験を棚卸しし、受講者の到達点を決め、説明を録音して教材にし、学びたい人へ具体的な投稿で届ける。AIはこの一連の作業の整理や制作を助けていますが、専門知識、内容の確認、実演、受講者への対応は本人が担っています。

実践の進め方

01 教えてきたことを棚卸しする

動画の話を実践順に整理しています。人に教えた経験や感謝された経験を書き出し、遠方の人にも届けたい内容を選びます。

動画 33:52

02 受講者の出発点と到達点を決める

対象者、教える分野、最終的にできるようになることをChatGPTへ伝え、章立て案を自分の経験に合わせて修正します。

動画 17:59

03 説明を録音し台本へ整える

実際の指導や一人での説明を録音し、Nottaで文字起こしを作ります。ChatGPTで台本化した後、内容を確認して細かく直します。

動画 14:19

04 資料・実演を講座にまとめる

説明部分はGammaからCanvaへ移して資料を整え、解説を録画します。動きを見せる部分は手元を撮影し、講座内に配置します。

動画 20:49

05 学ぶ人が欲しい知識を発信する

道具や工程の具体的な説明をThreadsで伝えます。完成した見た目への興味と、作り方を学びたい気持ちをつなげる投稿を考えます。

動画 27:16

AIへの相談例

編集部が作成した活用例です。動画内の発言をそのまま書き起こしたものではありません。

【編集部による活用例・動画の逐語プロンプトではありません】この資料を根拠に、記載外の補足は区別し、私の状況を質問してから進めるようにしてください。私がこれまで人に教えたこと、相手から感謝されたこと、今届けたい相手を順に聞いてください。その回答から講座の対象者と到達点を整理し、知識・実演・実践の順で章立て案を提案してください。私がまだ説明できない内容は勝手に補わず、確認事項にしてください。

資料について

- ・本資料は動画の字幕をもとに、対談の内容を学びやすい順番に整理した要約です。
- ・販売額、制作期間、閲覧数、フォロワー数は登壇者の個別事例であり、成果を保証するものではありません。販売額と利益は異なります。
- ・ツールの機能・画面・提供条件は動画時点の説明です。動画内の期間限定の申込特典は、本資料では現在の案内として扱っていません。